

## 2 各機器類の点検、保守内容

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1-(1) 吸収式冷温水発生機	
ア 外観状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食、変形、損傷等の有無を点検する。</li> </ul>
イ 電気系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>・操作回路、密閉ポンプ、抽気ポンプ等の絶縁抵抗値をメガテスターを用いて測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。</li> <li>・端子の緩み、変色及び漏れの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。</li> <li>・冷水及び冷却水ポンプその他のインターロックの作動の良否を点検する。作動不良の場合は調節する。</li> <li>・起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。作動不良の場合は調節する。</li> <li>・密閉ポンプ及び抽気ポンプ用サーマルリレーが設定値で作動することを確認する。作動不良の場合は調整する。</li> </ul>
ウ 保護装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷水過冷却及び断水、液面リレー、高温再生圧力及び吸収液ポンプ冷却水温度その他のスイッチの作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。</li> </ul>
エ 燃焼装置 ①バーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炎口部に付着した媒、カーボン、未燃分等の汚れを清掃する。</li> <li>・点火及び消化の良否を点検する。点火及び消化不良の場合は調節する。</li> <li>・炎の色及び形状及びに燃焼音等の燃焼状態の良否を点検する燃焼不良の場合は調整する。</li> <li>・ノズルチップ、デフューザー、バーナータイル等の焼損、変形、割れ等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
②電極棒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電極棒の異物の付着及び腐食の有無を点検する。</li> </ul>
③ストレーナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れの有無を点検する。</li> </ul>
④電磁弁及び 油圧計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作動の良否を点検する。作動不良の場合は清掃又は調整する。</li> </ul>
⑤火炎検出器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・媒及び油滴の付着、焼損並びに保護ガラスの亀裂の有無を点検する。付着がある場合は清掃する。</li> </ul>
オ 抽気装置 ①抽気ポンプ ②抽気系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。</li> <li>・抽気用弁を手動で全開にしたとき、真空計の変化から確実に開通していることを確認する。</li> </ul>
③リーク試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽気ポンプで機内に不純ガスのないことを確認する。</li> </ul>
カ 本体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保温及び保冷材の損傷及び脱落の有無を点検する。</li> <li>・計装部品の損傷及び脱落の有無を点検する。</li> <li>・冷水及び冷却水系水カバーを開放し、水室及び電熱管のスケール付着及び腐食の有無を点検する。又、チューブ内のスケール及び腐食の清掃をする</li> <li>・冷媒液はすべて溶液に混入させて希釈されていることを確認する。</li> <li>・溶液サンプリング分析をする。</li> <li>・冷水及び冷却水のPH測定をする。</li> </ul>
キ 運転調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音及び振動に異常がないことを確認する。</li> <li>・主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の10%以内にあることを確認する。</li> <li>・冷媒量の確認をする。</li> <li>・運転状況の記録を採取する。</li> <li>・バーナーの燃焼状況を確認する。</li> </ul>

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1－(2) 冷却塔	
ア 基礎  イ 塔本体 ①ケーシング ②散水装置  ③エリミネーター ④ルーバー  ⑤充填材  ⑥骨組み及び脚  ウ 水槽 ①本体  ②給水装置  ③ストレーナー  エ 送風機 ①羽根車  ②ファンケーシング ③軸受  ④電動機  ⑤ベルト  ⑥プーリー  オ 凍結防止装置  カ 運転調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀裂、沈下等の異常の有無を点検する。</li> <li>・防振装置の損傷等の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷、変形及び汚れの有無を点検する。汚れが著しい場合は清掃する。</li> <li>・損傷、変形及び汚れの有無を点検する。汚れが著しい場合は清掃する。</li> <li>・散水穴の目詰まりの有無を点検する。汚れが著しい場合は清掃する。</li> <li>・散水管の回転が円滑であることを確認する。</li> <li>・損傷及び変形の有無を点検する。</li> <li>・損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。損傷又は目詰まりが軽微な場合は補修又は洗浄する。</li> <li>・スケール等の異物の付着状況を点検する。</li> <li>・目詰まりの有無を点検する。</li> <li>・座屈、変形等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・損傷、変形等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。</li> <li>・水漏れがないことを確認する。</li> <li>・水位が規定の位置にあることを確認する。規定の位置にない場合は調節する。</li> <li>・ボールタップ等が確実に作動することを確認する。作動不良の場合は調整する。</li> <li>・目詰まり及び損傷等の劣化の有無を点検する。目詰まりがある場合は清掃する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷、腐食等の劣化及び汚れの有無を点検する。汚れが著しい場合は清掃する。</li> <li>・回転に支障のないことを確認する。</li> <li>・損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・軸が円滑に回転することを確認する。</li> <li>・油量の適否を点検する。</li> <li>・損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・円滑に回転することを確認する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> <li>・音及び振動に異常のないことを確認する。</li> <li>・張り具合の適否を点検する。</li> <li>・損傷及び摩耗の有無を点検する。</li> <li>・損傷、摩耗等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーモスタットが設定値で確実に作動することを確認する。</li> <li>・ヒーターの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。</li> <li>・ヒーターの絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電動機の回転方向が正回転であることを確認する。</li> <li>・音及び振動に異常のないことを確認する。</li> </ul>

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1－(3) ポンプ類	
ア 本体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷、腐食及び漏洩の有無を点検する。</li> <li>・軸継手ゴムの損傷等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・軸継手の芯狂いが許容範囲内にあることを確認する。</li> <li>・主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の10%以内にあることを確認する。</li> <li>・ポンプの吸込圧力及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。</li> </ul>
イ 電動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食及び損傷の有無を点検する。</li> <li>・円滑に回転することを確認する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。</li> </ul>
ウ フード弁及び逆止弁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開閉の良否を点検する。</li> </ul>
エ 圧力計、連成計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食及び損傷の有無を点検する。</li> <li>・指示値に狂いがないことを確認する。</li> </ul>
1－(4) 空冷熱源ヒートポンプ	
ア 外観状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。</li> </ul>
イ 電気系統 ①操作及び動力回路 ②端子 ③盤 ④サーモスタット ⑤クランクケースヒーター ⑥スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> <li>・緩み、変色及び漏れの有無を点検する。緩みある場合は増締めする。</li> <li>・汚れ及び異物の付着並びに緩み及び変形の有無を点検する。</li> <li>・作動値の確認をする。</li> <li>・温度の異常の有無を点検する。</li> <li>・冷房及び暖房切り替えが誤っていないことを確認する。</li> </ul>
ウ 冷媒系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス漏れの有無を点検する。</li> <li>・配管の損傷等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
エ 送風機 ①軸受 ②ファンローター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音、振動等の異常の有無を点検する。</li> <li>・汚れ及び損傷等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
オ 熱交換器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィンコイル及び補助ヒーターの汚れ及び損傷等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
カ エアフィルター ①ろ材 ②枠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詰まり及び損傷等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・汚れ及び損傷等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
キ 排水系統 ①ドレンパン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ及び発錆、腐食等の劣化の有無を点検する。汚れがある場合又は劣化が軽微の場合は清掃又は補修する。</li> </ul>

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1－(5) 空気調和機	
ア 本体 ①音及び振動 ②ケーシング ③保温材  イ 送風機 ①羽根車 ②シャフト ③軸受 ④電動機  ⑤ベルト  ウ コイル  エ 加湿器  オ エリネーター  カ ドレンパン  キ エアフィルター ①ろ材 ②枠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常の有無を点検する。</li> <li>・腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・破損の有無を点検する。破損が軽微の場合は補修する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ及び発錆、磨耗等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・振れ及び発錆、磨耗等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・音及び振動の有無を点検する。</li> <li>・円滑に回転することを確認する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> <li>・発熱の異常の有無を点検する。</li> <li>・プーリーの磨耗の有無を点検する。</li> <li>・弛み及び磨耗、損傷等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ及び腐食等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詰まり及び腐食等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目詰まり及び腐食の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発錆、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・排水口の詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目詰まりの有無を点検する。目詰まりの著しい場合は洗浄する。</li> <li>・変形、腐食等の有無を点検する。</li> </ul>
1－(6) ファンコイルユニット	
ア 外観状況  イ 送風機 ①電動機  ②羽根車  ③ケーシング  ウ 熱交換器  エ エアフィルター ①ろ材 ②枠  オ ドレンパン  カ 電装部品 ①電気配線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・緩み等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・円滑に回転することを確認する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> <li>・汚れの有無を点検する。</li> <li>・腐食、変形、損傷等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・フィン汚れ及び目詰まりの有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目詰まりの有無を点検する。目詰まりの著しい場合は洗浄する。</li> <li>・変形、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・汚れ及び水漏れの有無を点検する。汚れがある場合は清掃する。</li> <li>・ドレン排水口の破損及び水漏れの有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。</li> </ul>

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
②セレクトースイッチ キ ケーシング ①保温材 ②吹出グリル ク 弁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷、破損等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・発停、風量切替等の作動の良否を点検する。</li> <li>・損傷、剥離、変形等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・汚れ及びゴミ付着の有無を点検する。汚れ又はゴミ付着がある場合は清掃する。</li> <li>・損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・損傷、腐食、変形等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・水漏れの有無を点検する。</li> <li>・空気抜きの良い否を点検する。</li> </ul>
2-(1) 給湯用温水器	
ア 基礎 イ 本体 ①外観状況 a) ケーシング b) 保温材 ②燃焼室及び伝熱面 ③熱交換器 ④煙導及び煙突 ウ 抽気装置 ①抽気ポンプ ②抽気系統 ③リーク試験 エ 燃焼装置 ①バーナー ②電極棒 ③ストレーナー ④電磁弁及び油圧計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀裂、沈下等の有無を点検する。</li> <li>・ボルトの緩みの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。</li> <li>・汚れ及び燃焼ガス漏れ並びに焚口及び掃除口付近の焼損の有無を点検する。</li> <li>・汚れがある場合又は軽微の場合は清掃又は補修する。</li> <li>・脱落、損傷等の劣化が軽微の場合は補修する。</li> <li>・清掃の上過熱及び腐食等の劣化並びに水漏れの有無を点検する。</li> <li>・真空度が規定の許容範囲にあることを確認する。</li> <li>・燃焼ガス漏れの有無を点検する。漏れ軽微の場合は補修する。</li> <li>・運転時にボイラー水位が規定の許容範囲にあることを確認する。</li> <li>・接続部の水漏れの有無を点検する。</li> <li>・汚れ及び詰まりの有無並びに流量の適否を点検する。汚れ及び詰まりのある場合は清掃する。</li> <li>・逃し弁の腐食、損傷等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・割れ、腐食等の劣化並びに雨水の侵入の有無を点検する。劣化が軽微の場合は補修する。</li> <li>・排ガスの漏れの有無を点検する。漏れが軽微の場合は補修する。</li> <li>・耐火レンガ及びキャスタブルの脱落及び媒の推積の有無を点検する。推積がある場合は除去する。</li> <li>・起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。</li> <li>・抽気用弁を手動で全開にしたとき、真空計の変化が確実に開通していることを確認する。</li> <li>・抽気ポンプで機内に不純ガスのないことを確認する。</li> <li>・炎口部に付着した媒、カーボン、未燃分等の汚れを清掃する。</li> <li>・点火及び消化の良否を点検する。点火及び消化不良の場合は調整する。</li> <li>・炎の色及び形状並びに燃焼音等の燃焼状態の良否を点検する。燃焼不良の場合は調整する。</li> <li>・ノズルチップ、デフェューザー、バーナータイル等の焼損、変形、割れ等を点検する。</li> <li>・電極棒の異物の付着及び腐食の有無を点検する。</li> <li>・汚れの有無を点検する。</li> <li>・作動の良否を点検する。作動不良の場合は清掃又は調整する。</li> </ul>

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
⑤火炎検出器	・煤及び油滴の付着、焼損並びに保護ガラスの亀裂の有無を点検する。付着がある場合は清掃する。
オ 操作盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端子の緩み、変色及び漏れの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。</li> <li>・操作回路等の絶縁抵抗値をメガスターを用いて測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。</li> <li>・表示灯の点灯及び警報器の発鳴の良否を点検する。点灯不良の場合は球を交換する。</li> </ul>
2-(2) 外気調和機	
ア 本体 ①音及び振動 ②ケーシング ③保温材  イ 送風機 ①羽根車 ②シャフト ③軸受 ④電動機  ⑤ベルト  ウ コイル  エ 加湿器  オ エリネーター  カ ドレンパン  キ エアフィルター ①ろ材  ②枠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常の有無を点検する。</li> <li>・腐食等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・破損の有無を点検する。破損が軽微の場合は補修する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ及び発錆、磨耗等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・振れ及び発錆、磨耗等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・音及び振動の有無を点検する。</li> <li>・円滑に回転することを確認する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> <li>・発熱の異常の有無を点検する。</li> <li>・プーリーの磨耗の有無を点検する。</li> <li>・弛み及び磨耗、損傷等の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ及び腐食等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詰まり及び腐食等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目詰まり及び腐食の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発錆、腐食等の有無を点検する。</li> <li>・排水口の詰まりの有無を点検する。詰まりがある場合は清掃する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目詰まりの有無を点検する。目詰まりの著しい場合は洗浄する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変形、腐食等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
2-(3) 熱交換型換気扇	
ア 本体 ①ケーシング ②フィルター ③保温材  イ 熱交換エレメント ①エレメント ②ケーシング  ウ 送風機 ①電動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発錆、腐食の劣化及び振動等の異常の有無を点検する。</li> <li>・目詰まり及び破損の有無を点検する。</li> <li>・破損の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目詰まり及び破損の有無を点検する。</li> <li>・腐食等の劣化の有無を点検する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主電源電圧の変動が運転時に定格の10%以内であることを確認する。</li> <li>・主電流が定格の 115%以下であることを確認する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> </ul>

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
②軸受け ③羽根車及びシャフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音、振動等の異常の有無を点検する。</li> <li>・腐食、変形等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
2－(4) 送排風機	
ア 外観状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食、変形、破損等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・緩み等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・防振材の破損等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
イ 電動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱の異常の有無を点検する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> <li>・電流値を計器盤で測定し、規定値以下にあたることを確認する。</li> </ul>
ウ 軸受	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱、音及び振動の異常の有無を点検する。</li> <li>・油不足の場合は補充する。</li> </ul>
エ Vベルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弛み及び損傷等の劣化の有無を点検する。弛みがある場合は調整する。</li> <li>・芯出しの良否を点検する。芯出し不良の場合は調整する。</li> </ul>
オ Vプーリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磨耗、損傷等の劣化の有無を点検する。</li> </ul>
カ 羽根車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ及び変形、発錆等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・ボルトの緩み及び腐食等の劣化の有無を点検する。緩み又は劣化がある場合は増締めする。</li> </ul>
3－(1) ユニットクーラー	
ア ユニットファン ①電動機  ②軸受 ③熱交換器  イ 運転調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱の異常の有無を点検する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上あることを確認する。</li> <li>・電流値を測定し、規定値以下であることを確認する。</li> <li>・発熱、音及び振動の異常の有無を点検する。</li> <li>・コイルの汚れ及び損傷等の有無を点検する。</li> <li>・音及び振動に異常がないことを確認する。</li> <li>・電圧の変動が運転時に定格の10%以下にあることを確認する。</li> <li>・電流値が定格以下にあることを確認する。</li> <li>・高圧側及び低圧側の圧力、温度等冷媒ガスの状況を把握するのに必要な計測を行い、その値が許容範囲にあることを確認する。</li> <li>・冷媒ガス漏れの有無を点検する。</li> </ul>
3－(2) 冷凍機ユニット	
ア 外観状況  イ 電気系統 ①操作及び動力回路 ②端子 ③盤  ④自動制御装置  ⑤クランクケースヒター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食、変形、破損等の有無を点検する。</li> <li>・絶縁抵抗値を測定し、その値が1MΩ以上であることを確認する。</li> <li>・緩み、変色及び漏れの有無を点検する。緩みがある場合は増締めする。</li> <li>・汚れ及び異物の付着及び変形の有無を点検する。汚れ及び異物の付着がある場合は清掃する。</li> <li>・温度調節器及びセンサーの作動良否の確認をする。</li> <li>・自動弁の作動及び良否の確認をする。</li> <li>・保安装置等の作動及び良否の確認をする。</li> <li>・温度の異常の有無を点検する。</li> </ul>

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
⑥圧力計及び安全弁  ウ 冷媒系統  エ 保安装置 ①圧力開閉器  ②インターロック  オ 運転調整 ①音及び振動 ②主電源電圧及び電流 ③冷媒ガス  ④熱交換器の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧力計の指示の狂い及び破損の損傷の有無を点検する。</li> <li>・ガス漏れの有無を点検する。</li> <li>・配管の損傷等の劣化の有無を点検する。</li> <li>・漏れの有無を点検する。</li> <li>・弁の開閉の良否を点検する。</li> <li>・作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。</li> <li>・異常のないことを確認する。</li> <li>・主電源電圧の変動が運転時に定格電圧の10%以内にあることを確認する。</li> <li>・高圧側及び低圧側の圧力、温度等冷媒ガスの状況を把握するのに必要な計測を行い、その値が許容範囲内にあることを確認する。</li> <li>・冷媒の液温、冷却水及び冷水等を点検し、熱交換状況が常であることを確認する。</li> </ul>
4 自動制御装置	
ア 中央監視盤及びリモート制御盤          イ 自動制御弁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盤内機器の取付けの良否並びに過熱及び異臭の有無を点検する。取付け不良の場合は調整する。</li> <li>・端子の変色、発錆及び汚れの有無を点検する。汚れがある場合は、清掃する。</li> <li>・機器運転時の盤内部の温度及び結露水の有無を点検する。</li> <li>・表示灯の点灯及び警報器の発鳴の良否を点検する。点灯不良の場合は球を交換する。</li> <li>・焼損、変形等の劣化及び汚れの有無を点検する。汚れのある場合は清掃する。</li> <li>・作動の良否を点検する。作動不良の場合は調整する。</li> <li>・配線の良否及び接続部の緩みの有無を点検する。緩みの有る場合は増締めする。</li> </ul>